

真に民主的な労働運動を
不断に追求し、働く者と
家族の幸せ、JR産業の持
続的発展を実現しよう!

http://www.jr-rengo.jp



JR連合

JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

日本鉄道労働組合連合会

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10
東興ビル9階
TEL (NTT) 03-3270-4590 (JR) 057-7848
FAX (NTT) 03-3270-4429 (JR) 057-7849
1部20円 (但し組合費に含む)
●発行者 荻山市朗 ●編集者 今井孝治



21世紀の鉄道を考える議員フォーラム第15回総会 衆参議員63人が結集してJR産業が抱える 様々な課題に対処していくことを確認

「JR二島・貨物経営自立実現PT」発足 将来にわたり社会的使命を果たすために 骨太議論展開へ

J R 発足32年が経過し、J R 二島 (北
海道・四国)・貨物の三社はさまざまな
経営努力を積み重ねてきたが、依然とし
て株式上場・完全民営化への道筋が立っ
ていない。J R 二島・貨物が将来にわたり
社会的使命を果たし続けられる持続可
能な交通体系 (人流・物流) を構築し、
経営自立を果たすべく、2021年度以
降の支援措置の実施をはじめとした経営
課題を解決していく必要がある。

11月20日に開催した「21世紀の鉄道を
考える議員フォーラム」第15回総会にお
いて、泉健太衆議院議員、小川淳也衆議
院議員、広田一衆議院議員を中心として
「J R 二島・貨物経営自立実現PT」を
発足し、当該課題を進めるための政策提
言をとりまとめることが決議された。
今後、同PTの取り組みにおいて、J R
二島・貨物の経営自立実現にむけた骨太
の議論を展開していく。



「JR二島・貨物経営自立実現PT」を強力に推し進める決意を述べる樺葉会長

続いて、J
R 連合を代表
して荻山市朗
会長が挨拶し、
組織課題につ
いて「JRの
業務もグルー
プ、協力会社

とともに、多
発する大型台
風などの大規
模自然災害に
よるJR各社
の被災状況に
触れ、JR関
係労働者の復
旧対応等への
尽力に対して
労をねぎらっ
た。

「JR二島・貨物経営自立実現PT」を立
ち上げる旨の意向が提起さ
れ、フォーラム所属議員の
総意として承認された。

冒頭、樺葉賀津也会長が
挨拶に立ち、「JR二島・
貨物経営自立実現PT」に
ついて、これまでのフォー
ラムの取り組みも踏まえた
うえでさらに強力に推進し
ていく必要があると訴える

と、2020年度で終了
する現行の支援策のあり方
に留まらず、将来に亘る自
立経営に向けた議論を展開
するために「JR二島・貨
物経営自立実現PT」を立
ち上げる旨の意向が提起さ
れ、フォーラム所属議員の
総意として承認された。

持続可能な人流・物流ネットワーク実現へ

11月20日、都内にて、J R 連合と連携した国会議員で構成された「21世紀の鉄
道を考える議員フォーラム」が第15回総会を開催した。

樺葉賀津也会長をはじめ衆参43人の国会議員、秘書、地方議員、J R 連合執行
部、単組役員ら総勢約120人が出席し、フォーラム所属議員の総意で、「J R
二島・貨物経営自立実現PT」の立ち上げが承認された。

総会では、今年度の活動

方針や8人の新規加入議員、
新役員体制などが提起され、
質疑応答の後に全体で確認
衆参63人からなる新体制が
発足した。

とりわけ、J R 北海道、
J R 四国及びJ R 貨物につ
いて、2020年度で終了
する現行の支援策のあり方
に留まらず、将来に亘る自
立経営に向けた議論を展開
するために「JR二島・貨
物経営自立実現PT」を立
ち上げる旨の意向が提起さ
れ、フォーラム所属議員の
総意として承認された。



議員懇国会議員・各J R単組代表とともに御法川国会副大臣に要請書
を手交する

11月21日、J R 連合は、
2020年度税制改正要望
に加えて、自然災害による
鉄道被災からの復旧・復興
防災・減災への支援等にも
ついて、御法川信英国土交通
副大臣への要請行動を実施
した。J R 連合及びJ R 各
単組代表者が参加し、J R
連合国会議員懇談会から、
樺葉賀津也会長 (参議院議
員)、泉健太副会長 (衆議
院議員)、小川淳也事務局
長 (衆議院議員)、大串博
志幹事 (衆議院議員) の4
議員とともに力強く訴えた。
冒頭、樺葉会長が、「J
R 北海道、J R 四国、J R

国土交通副大臣へ要請行動 2020年度税制改正、自然災害への対策強化に

【新規加入議員】
勝部 賢志
参・北海道【立意】
馬淵 澄夫
衆・比例近畿【無所属】
山本 和嘉子
衆・比例北信越【立意】

議題では、
J R 連合を取
り巻く組織課
題や政策課題について共有
先立ち、J R 連合地方議員
連合会は、第25回総会を
開催した。J R 各単組の地
方議員団で構成する同連絡
会は、第19回統一地方選で
改選候補者全
員が当選を果
たすとともに、
広島・京都に
てJ R 西労組
から新たに2
人の組織内議
員が誕生し、
40人体制とな
った。



J R 連合と一層の連携を訴える中田利幸代表幹事
(米子市議)

J R 連合地方議員団連絡会第25回総会 新たな組織内議員も加え さらなる連携強化を確認

同日、フォーラム総会に
先立ち、J R 連合地方議員
連合会は、第25回総会を
開催した。J R 各単組の地
方議員団で構成する同連絡
会は、第19回統一地方選で
改選候補者全
員が当選を果
たすとともに、
広島・京都に
てJ R 西労組
から新たに2
人の組織内議
員が誕生し、
40人体制とな
った。

永江 孝子
参・愛媛県【無所属】
田村 真美
参・比例区【国民
安達 澄
森屋 隆
参・比例区【立意】
参・大分県【無所属】

2019年「年末手当」要求及び妥結状況表(11月26日現在)

単組名	2019年				2018年			
	要求日	要求内容	妥結日	妥結内容	要求日	要求内容	妥結日	妥結内容
JR北労組	10/31	2.5ヶ月 12/13支払		交渉中	10/31	2.5ヶ月 12/14支払	11/30	2.025ヶ月 12/14支払
JREユニオン	10/29	3.15ヶ月 12/3支払	11/13	3.18ヶ月 12/4支払	10/22	3.29ヶ月 12/3支払	11/14	3.18ヶ月 12/4支払
JR東海ユニオン	10/24	3.1ヶ月 12/10支払	11/6	3.0ヶ月 12/10支払	10/10	3.1ヶ月 12/10支払	11/8	3.00ヶ月 12/10支払
JR西労組	2/8	年5.7ヶ月	3/13	(年5.48ヶ月) 2.74ヶ月 12/10支払	2/9	年5.7ヶ月	3/14	(年5.66ヶ月) 2.74ヶ月 12/8支払
JR四国労組	10/16	2.3ヶ月 12/6支払 55歳以上3万加算	11/22	1.89ヶ月 12/6支払	10/17	2.3ヶ月 12/7支払	11/21	1.83ヶ月 12/7支払
JR九州労組	10/1	3.0ヶ月 12/10支払 55歳以上の加算措置	11/22	2.51ヶ月 12/10支払	9/29	3.0ヶ月 12/10支払 55歳以上の加算措置	11/22	2.53ヶ月 12/10支払
貨物鉄産労	2/14	2.75ヶ月以上 (年4.5ヶ月で夏1.68ヶ月 支給との差分)	11/14	1.81ヶ月 12/6支払	2/14	2.82ヶ月 (年4.5ヶ月で夏1.68ヶ月 支給との差分)	11/16	1.70ヶ月 12/7支払

貨物については、未だ経営
自立の見通しが立っていない
い。税制支援が引き続き必
要である。また、近年相次
ぐ自然災害による鉄道被災
の多くは鉄道用地外からの
土砂や河川氾濫によって拡
大している。その復旧は他
のインフラと違い、鉄道事
業者自らの資力で行わなけ
ればならない」と訴えた。
続いて、J R 連合の荻山
市朗会長からは、J R 貨物
関連項目を中心に税制支援
措置の延長とともに恒久化
を求めつつ、「税制に加え
て、多くの支援措置を講じ
ていただいている。しかし、
2020年度には大きな助
成策が終了し、2021年
度からの次なる支援にむけ
た法改正を伴う議論が粗上
に上がる。この段において
単に弥縫策ではない、将来
の経営自立への道筋を描く
議論を求めたい。J R 連合

としても様々な観点から政
策提言を発するので、ご検
討いただきたい」と訴えた。
加えて、国土交通省が鉄道
用地外からの災害対応に関
する検討会を立ち上げたこ
とに触れ、「林野庁とも連
携した事前防災等の取り組
みは、現場からの切実な意
見であり、J R 連合の提起
を受け止めていただいた」と
感謝を述べ、今後の議論
展開に期待を示した。
さらに、各単組代表者か
らは、要望項目と関連する
諸課題について発言したあ
と、御法川副大臣からは、
税制改正要望実現に取り組
んでいることに加え、自然
災害の事前防災、貨物鉄道
モーターシフトの必要性、
将来の自立経営を前提とし
た支援のあり方について、
J R 連合からの主張を踏ま
えつつ、検討を進めていく
旨の姿勢が示された。

JR連合「総対話行動」スタート 直接対話を通じて未来を描く

JR連合は、10月から12月の3か月をかけて、加盟各単組をはじめとするJR連合を支える組織との間で「総対話行動」を開始した。10月26日にJR四国労組、11月2日にJR北労組、15日に青年・女性委員会、そして25日にはJR西労組にJR連合が赴き、それぞれ意見交換を行った。

を取り巻く環境は目まぐるしく変化している中、めざましい変化を実現するために、改めて私たち労働組合の果たすべき役割をJR連合に加盟する単組、そして8万人を越える全ての組合員がともに考え、共有し、明確化し、そして実行することが重要である。そのためには、単組や職場の声を丁寧に把握し、内在する様々な課題を集約することが肝要との認識に立ち、JR連合結成以来はじめてとなる「総対話行動」の取り組みを開始した。

11月6日、都内において、連合2020春季生活闘争中央討議集会が開催され、構成組織、地方連合会、関係団体などから480人が参加の下、2020春季生活闘争基本構想にもつぎ、闘争方針に関する討議を行った。

冒頭、主催者を代表して挨拶に立った神津里季生会長は、「2020闘争において、従来から唱えてきた『底上げ・底支え』『格差是正』といった概念について、それぞれをさらに明確な形で定義づけていくこととし、それらによりめざすのは、『分配構造の転換につながる得る賃上げ』である」と述べた。その上で、①格差是正・底支えを実現すること、②底上げの流れを止めないこと、③労使関係交換が行われた。

仲間と家族の幸せを実現する。その決意を胸に、今後総対話行動を積極果敢に展開し、JR連合に集う全ての組合員、全ての組織とともにさらなる進化にむけ取り組む。そして、いまだJR連合に結集していないJR産業で働く多くの仲間、JR連合への結集を力強く呼びかけていく。

JR連合は、今後JR4単組、そしてグループ労組にも「総対話行動」を展開し、課題と問題意識の共有を図っていく。

私が勤務するJR苗穂工場は、1909年に鉄道院札幌管理局の札幌工場として開設されたのが始まりで、主に車体・台車関係の整備を直営で行っており、JR北海道が所有する約7割の鉄道車輛を検修しています。私たちは、「安全の確立に

全力をあげ、まともな労働者の総結集で民主化闘争の完遂をめざそう」をスローガンに日々取り組みを進めています。また、労災事故防止のため「危ないと感じることのできる人材」を育て増やしていくことなどの取り組みを進めています。

最後に、私事ですが30代からゴルフを楽しんでいます。同僚とのゴルフや異業種のゴルフコンペに人合し、スコアアップに向け努力しています。ロング・ミドルホールでイーグルを出した事があるものの、ショートホールでのホールインワンはまだありませんので、常にイーグルをめざしゴルフを楽しんでいます。これからも変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

連合2020春季生活闘争中央討議集会 基本構想にもつぎ 活発な討議を展開



2020春季生活闘争にむけて意見を述べる尾形事務局長

集会では、藤本一郎連合会のみならず、経営側や組合未加入者など、社会全体の共通認識として共有できるかが2020闘争の「力

吉」であり、連合として先頭に立つて取り組んでほしい」と発言、連合からは「貴重な意見をいただき、課題認識を持つて取り組んでいく」との答弁があった。JR連合はこの基本構想を軸に、関係単組と議論を重ね、2020春季生活闘争方針を打ち出していく。

JR九州グループ労働組合連合会（JR九州連合）は、11月16日、福岡市で第29回定期大会を開催した。

中原博徳会長（JR連合副会長・JR九州労組中央執行委員長）は冒頭の挨拶で、昨年実施した大阪北部地震・平成30年7月豪雨災害被災者支援カンパへの協力に謝辞を述べた上で、自

「安全確立」「組織強化・拡大」「労働条件改善」の3点を挙げ、それぞれの課題に対する所信を述べた。また、JR連合から出席した萩山市朗会長は、産別・労働組合の役割やJR産業で働く仲間の総結集の必要性などを語った上で、JR九州連合に対して、JR九

その後、幹事会から2019年度活動方針の提案があり、満場一致で採択された。また、大会前段では、「中期労働政策ビジョン（2019～2023）」に関する学習会を行い、同ビジョンで設定した「あるべき姿」や「中期目標」について、出席者全員で理解を深めるとともに、2020春季生活闘争の取り組みに活かしていくことなどを確認した。



JR北労組「世話役活動の質と量が『総結集』につながることを確認」

話を開始した。総対話行動の中では、各社における労使関係の成果と課題、組合員の意識変化、組合活動

冒頭、主催者を代表して挨拶に立った神津里季生会長は、「2020闘争において、従来から唱えてきた『底上げ・底支え』『格差是正』といった概念について、それぞれをさらに明確な形で定義づけていくこととし、それらによりめざすのは、『分配構造の転換につながる得る賃上げ』である」と述べた。その上で、①格差是正・底支えを実現すること、②底上げの流れを止めないこと、③労使関係交換が行われた。

冒頭、主催者を代表して挨拶に立った神津里季生会長は、「2020闘争において、従来から唱えてきた『底上げ・底支え』『格差是正』といった概念について、それぞれをさらに明確な形で定義づけていくこととし、それらによりめざすのは、『分配構造の転換につながる得る賃上げ』である」と述べた。その上で、①格差是正・底支えを実現すること、②底上げの流れを止めないこと、③労使関係交換が行われた。

冒頭、主催者を代表して挨拶に立った神津里季生会長は、「2020闘争において、従来から唱えてきた『底上げ・底支え』『格差是正』といった概念について、それぞれをさらに明確な形で定義づけていくこととし、それらによりめざすのは、『分配構造の転換につながる得る賃上げ』である」と述べた。その上で、①格差是正・底支えを実現すること、②底上げの流れを止めないこと、③労使関係交換が行われた。

冒頭、主催者を代表して挨拶に立った神津里季生会長は、「2020闘争において、従来から唱えてきた『底上げ・底支え』『格差是正』といった概念について、それぞれをさらに明確な形で定義づけていくこととし、それらによりめざすのは、『分配構造の転換につながる得る賃上げ』である」と述べた。その上で、①格差是正・底支えを実現すること、②底上げの流れを止めないこと、③労使関係交換が行われた。

冒頭、主催者を代表して挨拶に立った神津里季生会長は、「2020闘争において、従来から唱えてきた『底上げ・底支え』『格差是正』といった概念について、それぞれをさらに明確な形で定義づけていくこととし、それらによりめざすのは、『分配構造の転換につながる得る賃上げ』である」と述べた。その上で、①格差是正・底支えを実現すること、②底上げの流れを止めないこと、③労使関係交換が行われた。

冒頭、主催者を代表して挨拶に立った神津里季生会長は、「2020闘争において、従来から唱えてきた『底上げ・底支え』『格差是正』といった概念について、それぞれをさらに明確な形で定義づけていくこととし、それらによりめざすのは、『分配構造の転換につながる得る賃上げ』である」と述べた。その上で、①格差是正・底支えを実現すること、②底上げの流れを止めないこと、③労使関係交換が行われた。

冒頭、主催者を代表して挨拶に立った神津里季生会長は、「2020闘争において、従来から唱えてきた『底上げ・底支え』『格差是正』といった概念について、それぞれをさらに明確な形で定義づけていくこととし、それらによりめざすのは、『分配構造の転換につながる得る賃上げ』である」と述べた。その上で、①格差是正・底支えを実現すること、②底上げの流れを止めないこと、③労使関係交換が行われた。

冒頭、主催者を代表して挨拶に立った神津里季生会長は、「2020闘争において、従来から唱えてきた『底上げ・底支え』『格差是正』といった概念について、それぞれをさらに明確な形で定義づけていくこととし、それらによりめざすのは、『分配構造の転換につながる得る賃上げ』である」と述べた。その上で、①格差是正・底支えを実現すること、②底上げの流れを止めないこと、③労使関係交換が行われた。

台風19号災害「連合救済ボランティア」 1日も早い復旧・復興めざし 連合ボランティアに参画

連合は、9月の台風15号に続き、10月12日に首都圏を直撃し、関東・東北エリアに広範な災害をもたらした台風19号の被害の甚大さに鑑み、「2019台風19号対策本部」を設置した。10月28日には、福島への連合救済ボランティア派遣にあたり、構成組織の担当者への説明会を実施した。

今後救済ボランティアは、行き先を福島県伊達市・郡山市とし、各20人ずつ5陣に分け、11月末まで展開された。JR連合からは、第2陣として、JR連合より今井孝治企画部長、JR西労組より新幹線協議会の高橋良樹事務局長が11月4日に連合本部での出発式終了後、伊達市にむけて出発した。

翌5日から、ボランティア作業に従事し、家屋の泥出し、ゴミの片付けなどに連合の仲間とともに汗を流し、積極的に連合救済ボランティアを担った。

JR連合は、引き続き連合ボランティア活動に参画するとともに、被災された地域で1日も早い復旧・復興のために、積極的に取

JR連合は、引き続き連合ボランティア活動に参画するとともに、被災された地域で1日も早い復旧・復興のために、積極的に取

JR連合は、引き続き連合ボランティア活動に参画するとともに、被災された地域で1日も早い復旧・復興のために、積極的に取

JR連合は、引き続き連合ボランティア活動に参画するとともに、被災された地域で1日も早い復旧・復興のために、積極的に取

JR連合は、引き続き連合ボランティア活動に参画するとともに、被災された地域で1日も早い復旧・復興のために、積極的に取

JR連合は、引き続き連合ボランティア活動に参画するとともに、被災された地域で1日も早い復旧・復興のために、積極的に取

役員紹介



JR北労組苗穂工場支部書記長
城 信之さん

て疑問や不平・不満を持つ北鉄労組組合員が多く存在しています。組合脱退は本人の意志で決断出来ることを訴え、他労組の組合員をはじめ、多くの方に信頼される運動を推し進めていく所存です。

最後に、私事ですが30代からゴルフを楽しんでいます。同僚とのゴルフや異業種のゴルフコンペに人合し、スコアアップに向け努力しています。ロング・ミドルホールでイーグルを出した事があるものの、ショートホールでのホールインワンはまだありませんので、常にイーグルをめざしゴルフを楽しんでいます。これからも変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

交通共済 **ニエース**

自然は強い。共済も強い。

火災共済/地震風水害共済/交通災害共済/入院共済

家族の幸せを災害から守る